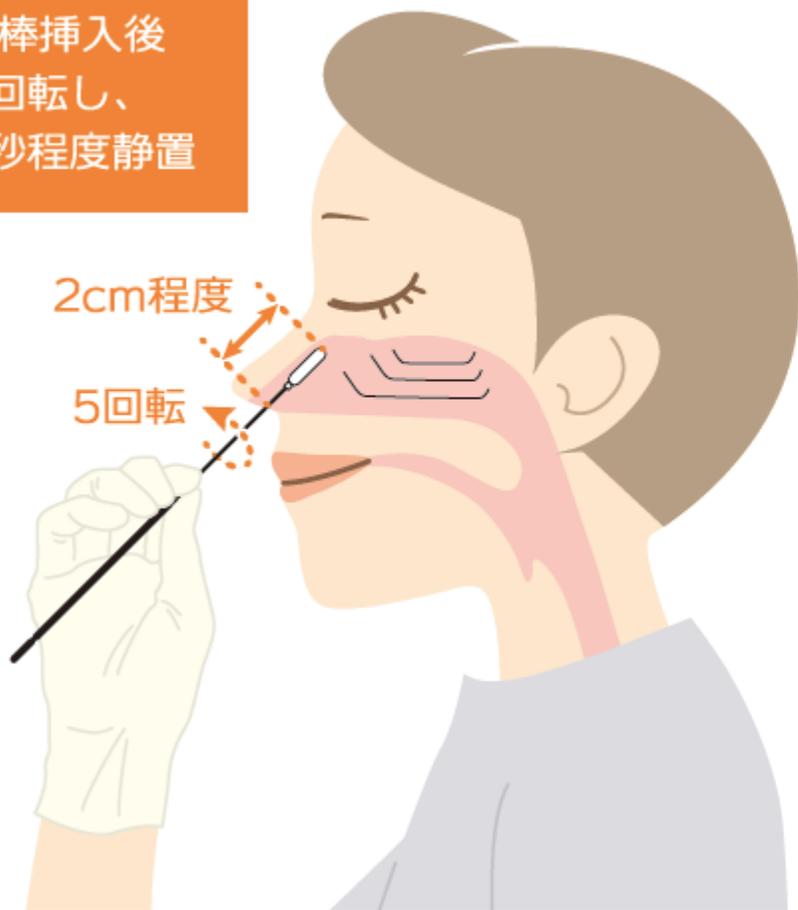


SARSコロナウイルス抗原キット

# エスプライン<sup>®</sup> SARS-CoV-2

富士レビオ株式会社

綿棒挿入後  
5回転し、  
5秒程度静置



監修：りんくう総合医療センター 感染症センター長 倭 正也 先生

1

綿棒を鼻孔入り口から2cm程度、  
粘膜部分をぬぐうようにしてゆっくり挿入します

2

綿棒を5回程度ゆっくり回転させます

3

5秒程度静置し、綿球を十分湿らせた後、  
そっと引き抜きます

エスプライン SARS-CoV-2  
製品情報サイト



## 操作ポイント

- ① 検体抽出時に、スクイズチューブで**綿球部をよく揉み解す**
- ② 滴下チップをはめた後に**5分静置**（抗原抽出のため）
- ③ 滴下数が**2滴**（カセットに印字あり）
- ④ 判定時間が**30分**、rライン&判定ラインが出ればその時点で陽性判定OK

検体抽出

滴下チップをはめて静置

滴下

押す

反応時間

綿球部をよくもみほぐしてください



検体を採取した綿棒の綿球部分をすみやかにスクイズチューブ内の検体処理液に浸し、綿球部分を挟み押さえながら10回程度回転、その後綿球部分を絞り出しながら綿棒を取り出します。



調製した試料液の入ったスクイズチューブに滴下チップをはめ込み、5分静置します。  
なお、本製品の検体処理液は、「エスライン インフルエンザA&B-N」においてもご使用いただけます。



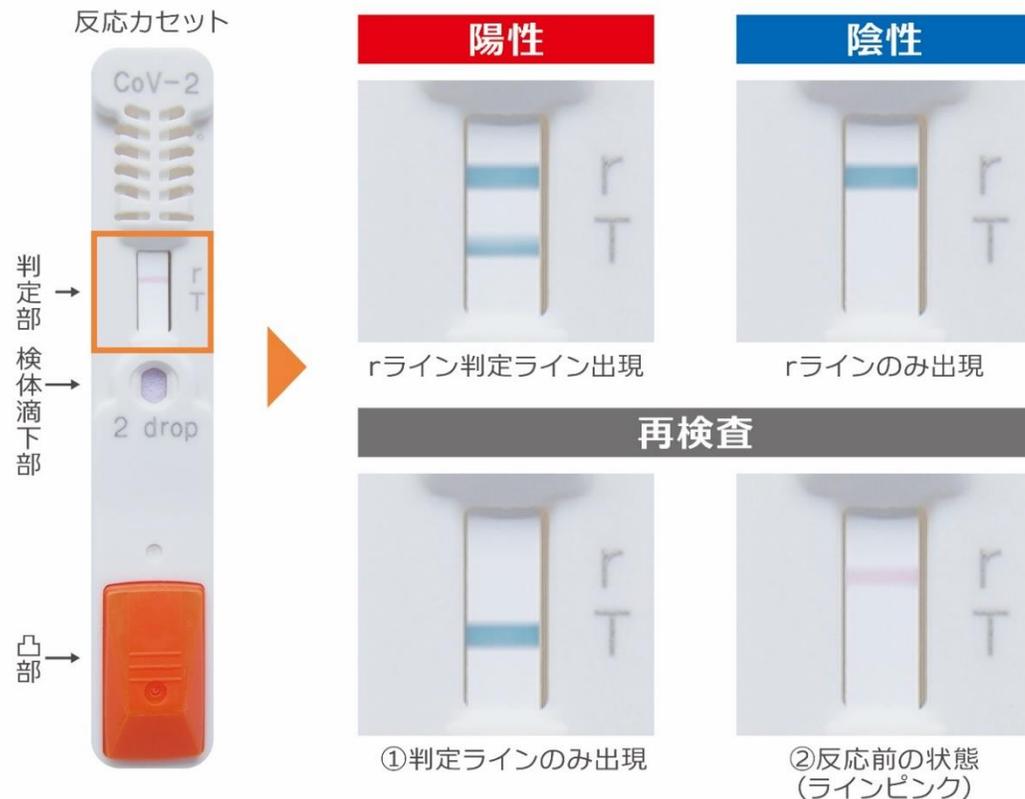
試料液を紫色の検体滴下部2滴滴下します。  
(\*反応カセットと滴下チップの先端を10mm以上離して、滴下ください。滴下時に抵抗がある場合は無理に押さないようにしてください。)



試料液滴下後、すみやかにオレンジ色の凸部を押し、反応を開始し、30分間水平に静置します。反応開始後は判定部に直接風が当たらないようにしてください。



30分後に判定を行います。ただし、30分より前でもレファレンスラインと判定ラインが出現した場合、「陽性」と判定できます。



- レファレンスライン（rライン）と判定ライン（Tライン）の目視判定により陽性、陰性を判定

- 30分時点でrラインが出現しなかった場合には、再検査。  
エスプラインの試料残液が使用可

- エスプライン陰性であっても、SARS-CoV-2感染を否定するものではありません。

エスプライン SARS-CoV-2  
製品情報サイト





- ご家庭等で使用したキット（綿棒、チューブ等含む）を廃棄するときは、ごみ袋に入れて、しっかりしばって封をしてください。
- ごみが袋の外面に触れた場合や袋が破れている場合は二重にごみ袋を入れる等、散乱しないように気を付けてください。

（参考）新型コロナウイルスなどの感染症対策としてのご家庭でのマスク等の捨て方（環境省作成リーフレット）

[https://www.env.go.jp/saigai/novel\\_coronavirus\\_2020/flyer\\_on\\_disposal\\_of\\_contaminated\\_household\\_waste.pdf](https://www.env.go.jp/saigai/novel_coronavirus_2020/flyer_on_disposal_of_contaminated_household_waste.pdf)